

THE KILLER WHALE TIMES

2021 年度 北海道選手権大会号

朝夕の冷え込みが厳しさを増してまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

こんにちは、タイムス班の佐藤です。10月16,17日に、延期となっていた北海道選手権大会が開催されました。残念ながら荒天のために2日目のレースは中止となってしまいましたが、1日目に行ったレースで順位が決定しましたのでお知らせいたします。

結果は、男子舵手フォアは、小樽商大Aが第2位、小樽商大Bは第3位でした。

女子ダブルは第2位となりました。皆様、応援ありがとうございました！



RACE RESULTS

○全道男子舵手付きフォア(1000m)

[A] C:西谷昇馬(4) S:長崎夕(2) 3:久光智也(4) 2:岩谷旭(3) B:根間大輔(4)

[B] C:久保田奈名(1) S:川村玄(1) 3:玉腰晋康(2) 2:若菜海斗(2) B:岩間陽亮(1)

決勝

レーン	クルー名	着順	タイム
1	北海道大学医学部	4	3:52.22
2	小樽商科大学 A	2	3:38.74
3	北海道大学	1	3:30.49
4	小樽商科大学 B	3	3:44.46



○全道女子ダブル(1000m)

S:小川菜未(2) B:佐藤虹歩(1)

決勝

レーン	クルー名	着順	タイム
1	網走桂揚 A	1	4:26.82
2	小樽商科大学	2	4:37.55
3	網走桂陽 B	3	4:38.58



COMMENT

○岩谷旭(3)

今回舵手付きフォアの2番を漕ぎました、3年目の岩谷です。

本来9月に行われるはずだったものが延期になり、10月の16日と17日に行われました。結果として17日は強風により中止となったので、16日の内容について簡単に触れておきたいと思います。

16日も小艇のレースが中止になるほどに風が強く、波も高かったのでかなり厳しいレースになることは予感していました。実際に艇をスタート地点につけてからも横風に煽られ、頻りに艇の向きを調整していました。そしていざスタートする直前の「アテンション」と「GO」のコールの間にも艇はみるみると流され、鋒は隣のレーンに入りかけた状態でした。今思えば2番の僕が向きを調節する必要があったのですが、ルールの把握不足のせいで結果クルーに迷惑を掛けてしまったことは悔やんでも悔やみきれません。

結果そのままレースは始まり、艇が隣のレーンに突っ込む形になってしまって、安全を第1優先に艇を止めることとなってしまいました。再び向きを正しい方向に直してスタートし直しましたが、その時点で恐らくほかのクルーとは2艇身差。何とか2クルーは刺し返したものの、北大相手に差を縮められず結果2着。本当に後悔が残るレースとなってしまいました。

しかし悪いことばかりではなく、インカレに向けて試していたことや練習していたことを実践で試すいい機会であったことは間違いありませんでした。

また、スタートし直してからの漕ぎはラフコンであるのにも関わらず、自分たちも驚く程の艇速が出て素晴らしいものでした。ベストに近い漕ぎが出来た分、悔しさの残るレースでした。

最後の茨戸でのレースで今年引退する先輩たちに勝利をプレゼントできなかったことは悔やまれますが、この悔しさをバネに来年度のレースは全て優勝するくらいの勢いで冬練に取り組んで行きたいです。

長崎夕(2)

全道選手権に対校フォアの整調として出場させていただきました、2年目の長崎です。

北大定期戦では2番に乗らせていただいていたのですが、その時は前にも後ろにも先輩がいるという安心感があったのですが、今回は整調ということで、前には誰もいないし、僕がリズムを作らなければいけないのでレース前はかなり緊張していました。

レース本番ではスタートで風に煽られてレーン侵害をしてしまい、一度艇を止めてから再度スタートしたので序盤で他の3艇にかなりの差をつけられてしまったのですが、そこで諦めずに落ち着いて自分の漕ぎに集中することができて、レース全体を通して力を出し切ることができたのでその点では満足しています。

しかし結果としては北大Aに8秒差をつけられての二着という事でやはり悔しさは残ります。この悔しさを糧にして、来年こそは勝てるようにこれまで以上に努力していくつもりですので今後とも応援よろしく願いいたします。

○若菜海斗(2)

新人フォアの2番に乗らせて頂いた若菜です。今回の北海道選手権が今シーズン最後の大会ということで、夏の練習の全てを出し切る気持ちで臨みました。スタートから前半にかけては力強く漕ぎ上げて先頭のクルーに

並ぶことが出来ていました。しかし後半からは体力不足などで安定した漕ぎができず、悔しい結果となりました。結果としては負けましたが、成長したと言える点もあります。私たちは直前でのクルー変更やシートが変わったりなどバタバタすることが多かったですが、その度に順応して目も当てられないようなスタート練習も様になるくらいには上達しました。ここで言いたいのは技術面の成長だけではなく順応させるために対話をしっかりするようになった所です。自分自身、練習の時に声出しをすることがなくて気の利いた一声さえ掛けることが出来ませんでした。周りの熱気に当てられ気付けば自分も少しずつではありますが艇上でも声かけができるようになりました。今回の大会もただ負けて終わりではなく、何か一つでも成長を発見することができたので良い経験になったなと思います。でも、次こそは一位を取れるように皆さんで益々練習に励みたいと思います。これからも応援のほどよろしくお願い致します。

岩間陽亮(1)

北海道選手権男子付きフォアに小樽商科大学 B のバウとして出場しました、1年の岩間陽亮です。

この北海道選手権は自分の初レースとなるので、先に新人フォアとして活動していた同期たちに追い付けるようにと練習していました。しかし、全道の3週間前に自分は肉離れを起こしてしまいました。メンバーに本当に大きな迷惑を掛けてしまいましたが、僅かな練習時間でなんとか形に出来て大会を迎えることが出来たのは本当に良かったです。

レースの結果自体は満足のものではなく、タイムも前日出したベストにすら届かなかったり、自分が2回もオールワークをミスしたりと本当に悔しいものとなりました。反省として自分が緊張に弱すぎたのと技術の未熟さが浮き彫りになりました。しかし、このメンバーで頑張れたことは本当に大切な経験として心に残りました！冬練で体を鍛えつつ、来シーズンに向けて反省点を克服したいです。

最後になりますが、応援して下さった方々やOBOGの方々、指導して下さいました監督や先輩方、一緒に頑張った同期のみんな、本当にありがとうございます！これからも宜しくお願いします！

小川菜未(2)

今回全道選手権に一年佐藤虹歩とダブルで出場させていただきました。

私は去年の秋から入部し今年度の前半はマネージャーとして部にいたので初めての大会であり、とても緊張していましたが、達成感のある楽しいレースでした。

レース内容としては、スタートで失敗してしまい、他の艇を追いかける形で始まったおかげか、中盤でスピードが落ちることもなく、漕げたと思います。しかし、最後レートは上がったのですが、疲れが出てバタバタしてしまい納得のいく結果には成りませんでした。

でも、2人で辛い練習して後ちょっとのところまで行ったということがすごく嬉しくて、頑張った甲斐があったなと思いました。

これからも自分のペースで頑張っていきたいので応援よろしくお願い致します。

監督兼ヘッドコーチ報告

監督 谷津法彦(平成 5 年卒)

8/9 に北大戦が終わり、この時点での次の目標は

- ・ 9/9～12 全日本大学選手権(インカレ)
- ・ 9/12 札幌市民レガッタ (インカレに出ない1年生等)
- ・ 9/25・26 北海道選手権
- ・ 10/29～31 全日本新人戦

という次第でした。それに向けて上級生も1年生も動き始めましたが、結局全て延期または中止の憂き目を見る事になります。

対校フォアのメンバーは北大戦と変わらず、

S.岩谷(3) 3.久光(4) 2.長崎(2) B.根間(4) C.西谷(4) (※インカレ時はSと2が入れ替わり)

しかしお盆くらいから岩谷と長崎が故障を訴えたり、コックス西谷が濃厚感染者になって(本人は陰性)10日間ほど練習に参加出来なかつたりと、フォアが揃って練習出来ない状況が生まれました。

そんな折、8/20にインカレ延期(10/28～31)が公式に発表されます。4年生は3週間後に控えていた引退レースが1か月半に延びた事になります。しかもこの時点では本当に開催出来るのか未知数でしたので、気持ちの持ちようが難しかった事と思われます。しかしこの猶予を最大限に活かす事とし、もしインカレが無くても北海道選手権で絶対に優勝する事を目標として、気持ちを立て直しました。

すると今度は9/12に北海道選手権の延期(10/16・17)と札幌市民レガッタ中止の発表。

札幌市民レガッタに小艇での出漕を考えていた1年生は全道選手権に向けていち早くフォアを組む事になりましたが、対校の並べる相手が出来た事はいい方向になったと思います。

こちらのフォアの編成は以下の通り。

S.川村(1) 3.玉腰(2) 2.若菜(2) B.岩間(1) C.久保田(1)

※2番の若菜は2年生ですが入部したのは今年の4月なので実質1年生です。

北大戦で勝利した新人フォアから退部者が2名出て、腰を痛めてインカレフォアの選考から外れていた玉腰が乗り始めてから、一気に艇速が上がり始めました。最初に艇レートルング漕を並べた9/19はまだバラバラで全然付いていけませんでしたが、北海道選手権の前の週に並べた時にはだいぶいい勝負が出来るようになりました。“ザ・1年生フォア”から“セカンドフォア”に格上げになったと言っていいでしょう。

嬉しい事もありました。2年目女子の小川が漕手に復帰してくれました。去年の秋に入部し、冬の小樽での“車庫エルゴ”を経験したツワモノです。ただ年明けからはバックに回っていたのですが、9月初旬から1年目佐藤とダブルスカルを組んで水上練習を再開しました。北海道選手権が初レースとなります。

☆北海道選手権 (9/16・17)

【男子付きフォア】

- 1着 北海道大学 3分30秒49
- 2着 小樽商科大学 A 3分38秒74
- 3着 小樽商科大学 B 3分44秒40
- 4着 北海道大学医学部 3分52秒22

自分は安全監視艇の運転で300m付近に浮かんで見ていました。

有り得ない事にスタート用意のコールがかかってから2レーン商大Aだけがみるみる風に流されてトップを隣のレーンに向けていきます。心の中で何やってんだ早く戻せと言ってるうちにGOの発艇。当然ながら3レーンに向かってスタートダッシュ、ぶつかりそうになった為商大Aクルーだけが審判艇から止められました。自レーンに復帰してまた漕ぎ始めるまでに完全に置いていかれました。もうその後の漕ぎがどうだったとか覚えていません。目を疑うような光景でした。その後医学部と商大Bは捉えたものの、北大には追い付けずこの結果です。

後で聞いたところ「スタート用意」のコールがかかったら動いちゃいけないものだと思ったと言うのです。

もちろんそんな規則はありません。特に横風の際はギリギリまでバウがチャブなりバックチャブを行って方向を直します。よくある事です。要は「GO」の旗が下りるまでにスタートラインを越えなければいいのです。

ガッカリですが、言うまでも無い事だと思ってちゃんと教えていなかった自分の責任です。

去年道ボの審判部がやってくれた競漕規則の講習会を受けさせたのですが、やはり一回自分達でちゃんと読み込まなければこういうものは身に付きません。

対校フォアは故障者の影響で様子見の練習が続く中、工夫しながら調子を上げていったようです。数日前に北大と並べて全部勝ったと言っていましたし、アップを遠目に見ていて勝ってもおかしくないなど感じていたので、今回のミス(チョンボと言っていいと思いますが)はあまりに痛い。翌日の決勝でリベンジを誓いました。

(※参考までに競漕規則の一部抜粋です)

競漕規則 第8章 第39条 (スタート手順)

第9項

各クルーは、ロールコール(筆者注:バウナンバー順にクルー名が呼ばれること)が終わるまでに艇の方向を定めなければならず、この不備を理由に発艇(スタート)猶予を求めることはできない。

同 第48条 (特定クルーに対する停止等)

第1項

レース中、主審は、特定の艇が自己のレーンを外れて、回漕レーンあるいはさらに外の航行を妨げる物その他に衝突する危険が切迫している場合、レースを中止せずに、その特定の艇のみを停止させることができる。

【女子ダブルスカル】

1着 網走桂陽高校 A 4分26秒82

2着 小樽商科大学 4分37秒55

3着 網走桂陽高校 B 4分38秒58

こちらはエントリーが3パイのみ。1・2年生コンビのデビュー戦です。

初めて練習を見た時から相性の良さを感じ、粗いなりにも力強く艇を動かそうという点はとてもいいなと思っていました。レースでは最初出られたのですが、網走桂陽 B と抜きつ抜かれつの接戦だったようです。何とか1パイには勝てて良かったです。本人達は反省点の多いレースだったようですが、これを糧に今後につなげて行って欲しいものです。

10月17日(日)

大会二日目。

7時集合。強風の前報通りの朝でしたが、波はそれほどでもない。一旦はレース実施の方向で準備開始。部員達も気持ちを入れ直します。

しかし監視艇、審判艇が水上の所定位置にスタンバイした辺りで突風とうねりが目立ち始め、あられまで降り始める始末。第1レースが始まる30分ほど前に全レースの中止が決定。

結局今年最後の茨戸でのレースは終わってしまいました。その直後晴れ間が見えたりしましたが、1時間もすると立ってるのも辛いくらいの強風と横殴りのあられ。もう一本漕がせてあげたかったですが、レース中止は大会本部の賢明な判断でした。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします。

n_tanitsu@yahoo.co.jp

後援会費について

後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額です。 ¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会会則に則り、満年齢 65 歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、**日本信販の自動引落サービス**をご利用できます。できる限り多数のOBの方々がご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(廣中にいな)か担当の平成 10 年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908
口座番号:1532438 (普通預金)

北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガク
ソウ タイブ
店番:341
口座番号:3657349
取引店:小樽中央支店

連絡先: 会計 3年目 廣中にいな

TEL: 080-1896-7158

MAIL: ouc.rowing2021@gmail.com

＊個人情報保護の取り組み＊

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。

- ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。

- ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

連絡先: タイムス班

1年目佐藤 虹歩

TEL: 090-8427-6066

Mail: rowing1937@yahoo.co.jp